

伊野夏祭り 2年ぶり開催 外国人青年 浴衣姿で登場



▲舞台上でパプリカを踊る外国人青年ら

お盆前の8月12日、伊野地区壮年会(岩成潤会長)が最も力を入れる夏祭りがふるさと広場で開催された。今年は、国際ワークキャンプと日程をかぶらせ、キャンパーが舞台にのぼり、地区住民の皆さんに顔見せ興行することができた。ロシア人女性2人、中国人男性2人、台湾人女性1人、県外の学生6人が浴衣姿で東京オリンピックの応援ソング・パプリカを踊った。

みんなが楽しみにする夏祭り。子ども連れの家族が多く、参加者は700人を越えた。「孫連れだから来てみようと思った」など、お盆の帰省客も多く、たくさん子どもたちがふる里の一夜を楽しんだ。